カヌーを愛する会

草加パドラーズ

［会報第 20 号］ 平成 28 年 9 月 20 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 931-3844

綾瀬川再生流域会議(第 9 回)に参加

綾瀬川はワースト 3 位に！

平成 28 年 9 月 6 日(火)13:30～15:30、さいたま市浦和区のさいたま共済会館で流域市町村の環境課職員と環境保護団体で活動している方々30 余名が集まり、綾瀬川の再生について熱心に話し合いが行われました。

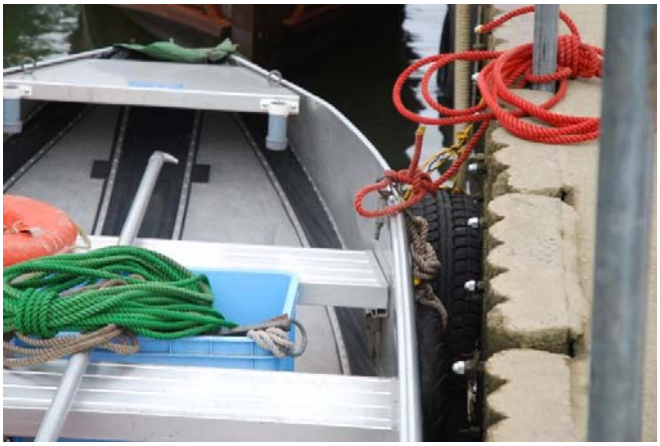
草加市からは、環境推進協議会から菅氏、獨協大学の米山教授、草加市環境課専門員門井秀夫氏、草加パドラーズから松下、小峰、井坂の各理事と中島事務局長が参加しました。平成 27 年の水質ランキングでは、ワースト 1(ワン)鶴見川(神奈川)BOD2.3、ワースト 2　大和川(大阪市)BOD2.3、ワースト 3　綾瀬川(埼玉・東京)BOD2.2 であることの報告がありました。これまでの各地の環境団体の努力で、水質浄化が大分向上してきたが、蛍が飛び交い、アユが恒常的に遡上する河川からは、なおほど遠いことがわかりました。今後は、国・県・市町村の環境課がもう少し科学的根拠を示し、熱心に取り組んでもらえるよう強く要望しました。

もっと行政を動かし、清流を取り戻せ！

９月７日(水)、大石昌男氏より激励の電話？！

荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム代表、戸田の川を考える会会長大石昌男氏より電話をいただきました。「綾瀬川再生流域会議で行政は、河川環境の美化・整備に一定の成果を上げていると称して努力を緩めているが決してそうではない。現に草加市上流の川口市からの支川より流下する水質が著しく汚染されていているが、連携すらしない姿勢は大問題である。草加パドラーズと多くの環境団体で連携して行政を動かしていきましょう・・・。」という力強いお電話をいただきました。

左岸船着場皿ナットを取付



和舟とカヌーの船体保護

皿ネジ装着の様子

和舟就航や草加パドラーズの活動で、岸壁に突き出たボルトで船体に傷や破損の被害が出ていました。皿ナットを取り付けました。

「ネクスト草加」の活動

９月 17 日(土)10:00～15:00

「ネクスト草加」の皆さんが、左岸船着場付近の綾瀬川で SUP とカヌーの体験会を実施しました。綾瀬川水質改善 PR を掲げ、魅力的な草加を取り戻す活動だそうです。草加

パドラーズは通常どおりごみ拾い活動を実施しました。